

令和2年度 自己評価・学校関係者評価書

令和3年 月 日

認定こども園中央幼稚園

1 幼稚園の教育目標

正しく（良い事、悪い事の判断を身につけよう。悪いと思う事をしない勇気を持とう。）

強く（心身ともにたくましくなろう。）

仲良く（親、兄弟、友だちを思いやり、感謝し、仲良く生活しよう。）

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

幼保連携型認定こども園としての運営は定着し父兄への対応は問題なく行われている。認定こども園教育・保育要領について教職員間で話し合う機会や園内研修の機会を増やし理解を深める努力をしていく。新型コロナウイルス対策を状況に合わせて徹底して行っていく。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由	関係者評価
① 保育の計画性	3.77	保育は計画的に行われていた。行事等は新型コロナウイルスの状況に合わせて臨機応変に変更等されていた。	3.7
②保育のあり方 幼児への対応	3.88	子どもの健康と安全への配慮は徹底して行われている。継続して今後も検温や消毒等衛生管理に力を入れて頂きたい。	3.8
③教師として資質 能力、適正等	3.84	社会の出来事・情勢等についての情報をとらえ教職員自身も体調管理に気を付けて保育にあたって頂きたい。	3.9
④保護者への対応	3.91	引き続き保護者への迅速な対応と情報の周知徹底ができています。保育参観や行事等は社会情勢に応じながら出来る範囲での実施をお願いしたい。	4
⑤地域の自然や地域との関わり	3.33	地域との関わりを持つ機会の少ない年になってしまったが今後も状況を見て地域・社会との関わりを増やして頂きたい。	3.4
⑥研修と研究	3.29	今年度は研修への参加が難しかったが教職員各自で学習する機会を増やし知識を深めて頂きたい。	3.3

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

1. 幼保連携型認定こども園に移行し4年目で父兄からの問い合わせも減り運営は安定して行われている。今年度は新型コロナウイルスの影響で保育や行事等が例年通りにはいかない事が多かったが状況に合わせて実施する事が出来ていた。子ども達の健康・安全を第一に考えた衛生管理の徹底も出来ていると感じられる。

5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育者としての姿勢 (計画的に業務を進める)	社会情勢を絶えず捉えながら子ども達の健康・安全を第一に考えた保育の取り組みをしていく。職員間の情報伝達の徹底、園内研修等に力を入れ、教職員一丸となり子どもや保護者が安心して過ごせる環境作りを大切にしていきたい。

6 学校関係者評価委員会からのコメント

認定こども園4年目となり運営や父兄への対応は安定し問題ないと感じられました。今年度は新型コロナウイルスの影響で保育や行事が例年通りにいかない事もありましたが、状況に応じて可能な限りの方法を考えて実施されていたと思います。また、検温や衛生管理に関しては教職員が率先して行い、保護者や子ども達も習慣づいてきていると感じられます。今後も引き続き安心・安全な保育をして頂くことを期待しています。今後も「子どもたちの未来のために」を合言葉に充実した保育の提供を宜しくお願いします。